

県下の交通事故

(平成11年8月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷者
平成10年		3975件	60人	5318人
平成11年		4014件	48人	5332人
比較		+39件	-12人	+14人



◇ 第129号 ◇  
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11 県民会館2階  
 〒400-0031  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 山梨県交通安全活動推進センター  
 (055) 232-4682  
 TEL 甲府 (055) 237-7827



「交通安全はぼくらが主役」と法被を着て元気に事故防止を訴える保育園児

運動の重点

- 一 高齢者の交通事故防止
- 二 シートベルトの着用の徹底とチャイルドシートの着用促進
- 三 飲酒運転の絶滅
- 四 交差点・カーブにおける事故防止

秋の全国交通安全運動

9月21日(火)から9月30日(木)まで

秋の全国交通安全運動が九月二十一日から三十日までの十日間、全国一斉に行われます。この運動は、秋の行楽シーズンを迎え、交通量が増加し、交通事故の多発が心配されることから、県民一人ひとりに交通安全意識を普及して交通安全思想の高揚を図り、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故を減少させようとして行われるものです。

今年の全国の交通事故による死者は八月二十日現在五千四百三十六人で、前年より十九人減っています。全事故の発生状況は逆

生状況は逆が増えており、死亡事故への転換の危険性が高まっているといえます。

県内の交通事故死者数は、八月二十日現在四十八人で前年対比十二人の減少となっておりますが、全事故の発生件数は四千四十四件、傷者は五千三百三十二人でわずかながら増加しています。

この交通安全運動を契機としてお互い一層の注意を払って交通事故を減少させ、死者数をなんとか二桁台に抑え込みたいものです。

●高齢者の交通事故は、相変わらず多く、県内の死者数は、十三人で全死者の二七・一％、特に歩行中、車にはねられて死亡された方は五人となつています。秋になり夜が長くなると夜間の行動が増え、また着物も暗いものへと変わってきますので、反射材を身につけて歩行してください。

●飲酒運転の絶滅ですが、お酒を飲んで運転をしてはいけないことは、小さな子供でも知っています。運転者自身が、強い意志で酒は飲まない、飲んだら乗らないを実行してください。

●交差点やカーブで多くの事故が発生しています。これは山梨県の事故の特徴で、その原因の一つとして、本県は山間地やカーブが非常に多いといふこともあります。カーブの手前では充分速度を落とし、また交差点では左右の安全を確認して走行することが必要です。

毎年下半期に死亡事故が増える傾向がみられ、特に年が押し詰まるにつれて急増しております。

運動の重点目標は、全国的には、一 高齢者の交通事故防止、二 シートベルトの着用の徹底とチャイルドシートの着用促進ですが、三 飲酒運転の絶滅、四 交差点・カーブの事故防止は県内交通事故の特性を勘案して掲げられたものです。

●シートベルトの着用率は、まだまだ低いようです。シートベルトは、自分の身を守るための装備ですので必ず着用しましょう。また、チャイルドシートは来年四月より使用が義務化されますが、チャイルドシートの真の目的は乗員保護ですので、

交通安全協会役員の方々は、交通安全の輪を広げる啓発活動に取り組みますが、会員の方々も「ゆとりと広い視野」で車の運転を実行し、悲惨な交通事故を自ら防ぐとともに、安全で快適な車社会実現のため、安全運転の輪を地域に広げてください。

●この指針は、長期的には交通安全教育の水準の向上及び安全教育の現況の改善を進めますが、当面は、交通安全に係わる団体等の指導者が、相手の年齢や通行の態様に応じて交通安全教育を行う際のガイドラインとなるものです。

●教育の対象を、幼児・児童・中学生・高校生・成人・高齢者までの六段階に分け、各年代に応じた教育の内容とし、また教育の方法は、各種の機会を利用して、参加、体験、実践的な講習等で行いますので、国民全体が勉強したいものです。



県警察交通規制課では、交通安全の立場から交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全協会役員の方々は、交通安全の輪を広げる啓発活動に取り組みますが、会員の方々も「ゆとりと広い視野」で車の運転を実行し、悲惨な交通事故を自ら防ぐとともに、安全で快適な車社会実現のため、安全運転の輪を地域に広げてください。

交通安全協会役員の方々は、交通安全の輪を広げる啓発活動に取り組みますが、会員の方々も「ゆとりと広い視野」で車の運転を実行し、悲惨な交通事故を自ら防ぐとともに、安全で快適な車社会実現のため、安全運転の輪を地域に広げてください。

交通安全協会役員の方々は、交通安全の輪を広げる啓発活動に取り組みますが、会員の方々も「ゆとりと広い視野」で車の運転を実行し、悲惨な交通事故を自ら防ぐとともに、安全で快適な車社会実現のため、安全運転の輪を地域に広げてください。

交通安全協会役員の方々は、交通安全の輪を広げる啓発活動に取り組みますが、会員の方々も「ゆとりと広い視野」で車の運転を実行し、悲惨な交通事故を自ら防ぐとともに、安全で快適な車社会実現のため、安全運転の輪を地域に広げてください。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

広げようゆとりと視野



県警察交通規制課長 丸山正太郎

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。

交通安全の立場から、交通信号機の設置、速度規制、駐車禁止規制等のさまざまな交通規制に携わり、本年七月末現在県下に信号機三千三百三十八基、一時停止等の規制標識四万七千本、横断歩道等の道路標示二千二百キロメートルを設置して、交通安全と円滑な交通を確保しております。



国家公安委員会は昨年十月に交通安全教育指針を告示しましたが、これは国内の道路利用者全てを対象に、徹底した交通安全教育を実施するための手引書です。

交通安全の防止には、警察による交通指導取り締まり、交通安全施設の整備、並びに交通安全教育が三本柱とされています。世界で最も交通事故死者数を減少させているドイツでは、以前から「幼児から高齢者まで生涯における交通安全教育」を実施して世界から注目されています。

# 件数・死者・傷者減る

## ～夏の事故防止運動～



警察・安協役員等による街頭指導 (塩山)

県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会主催の平成十一年度夏の交通安全事故防止運動は、七月二十一日から八月二十日までの二十一日間行われ、運動の重点を、一、高齢者の子供の交通事故防止、二、若者の無謀運転及び暴走族の追放、三、シートベルトの着用

の徹底とチャイルドシートの着用促進、四、交差点・カーブにおける事故防止、として県民をあげて強力に実施されました。期間中は、県下各地で猛暑と闘いながら、交通安全協会の役員をはじめ交通安全関係団体の大勢の人々が、県・警察・自治体等と一体となって取り組み、交通安全街頭指導所を開いてドライバーに安全運転を呼びかけたり、夏祭り時の交通安全整理など交通安全運動を活発にくりひろげました。

交通安全協会と県交通安全推進委員会、県教育委員会及び県下各高校の協力で、六月二十五日県立園芸高校敷地内の運転コースで各高校の交通安全教育担当の教諭五十三名を対象に二輪車安全運転指導員特別審査会を開きました。

県安協等では、毎年、県下各高校の希望により「高校生二輪車安全講習」などを実施していますが、その際、高校の先生方が一定の指導資格をもっていること、より一層効果的な講習ができていくと審査にあたる特別指導員や県教委等から強い

要望があったことから、今回、四回目になる「準指導員特別審査会」を開催したものです。この制度の資格には、知識や技能または経験の程度等に応じて「特別指導員」「指導員」「準指導員」の三種類がありま

すが、このたびは先生方には雨の中、準指導員の資格審査を受けていただき、ほとんどの方が立派な成績で審査に合格されました。

講習は夕方までの半日で終了することとしていますが、お知らせいたします。また、駐車場確保が困難な会場もありますので、講習は夕方までの半日で終了することとしてい

ます。また、講習は夕方までの半日で終了することとしてい

山梨県の交通環境は、整備、交通安全教育の推進や各交通安全運動における街頭キャンペーン等の広報啓発活動を積極的に行うとともに、県民の皆様が主役になって取り組む参加・実践型交通安全運動として「セーフティードライブ・チャレンジ作戦」などを推進しております。

また、県では初めて、交通事故削減の数値目標を設定し、その目標達成のため関係機関・団体との連携を深め、一層の取り組みを強化することといたしたところでありま

す。平成十一年の目標発生件数 六千五百件未満 死者数 百人未満

交通安全対策として次のこと

期間中の、こうした努力によりまして、交通事故の発生状況は昨年より減少し、特に死者数は四

人も減少しました。皆様の御協力に感謝いたします。

交通安全協会と県交通安全推進委員会、県教育委員会及び県下各高校の協力で、六月二十五日県立園芸高校敷地内の運転コースで各高校の交通安全教育担当の教諭五十三名を対象に二輪車安全運転指導員特別審査会を開きました。

県安協等では、毎年、県下各高校の希望により「高校生二輪車安全講習」などを実施していますが、その際、高校の先生方が一定の指導資格をもっていること、より一層効果的な講習ができていくと審査にあたる特別指導員や県教委等から強い

要望があったことから、今回、四回目になる「準指導員特別審査会」を開催したものです。この制度の資格には、知識や技能または経験の程度等に応じて「特別指導員」「指導員」「準指導員」の三種類がありま

# 交通ルールを守ろう

山梨県知事 天野 建



各市町村においても同様に、市町村独自の事故削減の数値目標を設定するとともに、警察、交通安全協会、交通安全母の会など交通安全関係機関・団体が一丸となって交通安全運動に取り組むことといたし、交通安全の役割を担っていただきます。

交通安全は家庭から地域から、山梨県公安委員

会から委託を受けて、毎年行っています。平成十一年度の「安全運転管理者等法定講習会」を十月と十一月の二ヶ月間に六回

「交通安全は家庭から地域から」を合言葉に、毎日の生活の中で実践し、積み重ねていただくことで、原点に立ち返った県民総ぐるみの交通安全運動となります。さらに、本年の交通事故削減の数値目標が達成でき、県民の皆様が達成でき、一人ひとりの深い御理解と、皆様が主役となって取り組む事故防止対策に積極的な参画をお願いいたします。

交通安全は家庭から地域から、山梨県公安委員

会から委託を受けて、毎年行っています。平成十一年度の「安全運転管理者等法定講習会」を十月と十一月の二ヶ月間に六回

「交通安全は家庭から地域から」を合言葉に、毎日の生活の中で実践し、積み重ねていただくことで、原点に立ち返った県民総ぐるみの交通安全運動となります。さらに、本年の交通事故削減の数値目標が達成でき、県民の皆様が達成でき、一人ひとりの深い御理解と、皆様が主役となって取り組む事故防止対策に積極的な参画をお願いいたします。

交通安全は家庭から地域から、山梨県公安委員

会から委託を受けて、毎年行っています。平成十一年度の「安全運転管理者等法定講習会」を十月と十一月の二ヶ月間に六回

# 安協だより

## 十・十一月中に六回 安全運転管理者講習会

交通安全は家庭から地域から、山梨県公安委員

安全運転管理者講習会実施日一覧表

月日	場所	受講対象者(警察管内別)
10月13日(水)	塩山中央公民館	石和・日下部・塩山
10月18日(月)	都留文化ホール	都留・大月・上野原
10月19日(火)	増穂町文化会館	増穂・南部・市川
10月27日(水)	アビオ甲府	甲府・南甲府
11月5日(金)	白根桃源文化会館	小笠原・並崎・長坂
11月16日(火)	富士吉田市民会館	富士吉田

交通安全は家庭から地域から、山梨県公安委員

# 地域に根ざした活動

南甲府安協会長 山下 讓二



交通安全は家庭から地域から、山梨県公安委員

自動車や原付自転車には必ず任意の自賠責保険を付けましょう。損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店 甲府市丸の内2丁目32-13 日東ビル4階 TEL055-228-0691

# 「指導員制度」がスタート

## チャイルドシート着用

来年四月一日からチャイルドシートが義務化されたことについては、安協ニュース第一二八号でお知らせしましたが、今後は、チャイルドシート着用の重要性や使用方法を正しく普及させることが必要です。

大人のシートベルト着用率は昨年九月調査で全国平均が約七八・五%なのに、本年五月調査の乳幼児のチャイルドシート着用率は一五・一%と低



県下初のチャイルドシート着用指導員委嘱式の様式 (南甲府安協)

調です。県警察本部交通部では本年七月、チャイルドシート着用の普及啓発活動を推進するため、県下各警察署及び地区交通安全協会等が協力して「チャイルドシート着用指導員制度」を発足させるように各警察署に指示しました。

特に、地区交通安全協会は、七十五年の永い伝統を持つ団体なので安協事業として、「チャイルドシート着用指導員」制度を発足させるよう地区安協に要請してきました。

この制度の内容についてはお知らせします。

一 概要  
地区交通安全協会(以下「安協」という)は、

二 推進要領  
本制度は、地区安協の事業として、着用指導員は、会員の中から地域の実態に応じた人数を選定し、会長から指導員として委嘱するものとする。

三 留意事項  
指導員の人数は、地域の実態、人口密度等を勘案して選考し、また指導員に対する講習会には、

四 参考事項  
本制度推進の指示を受けた南甲府警察署と同日、七月十七日

五 制度の内容  
講習対象者は、軽微な違反行為(一点、二点)または、軽傷事故等の付加点数の合計点数が六以上に達した者です。

六 制度実施上の留意事項  
違反者講習の受講者、未受講者の措置は、

七 受講者は行政処分免除  
軽微違反者の講習制度

## シグナル

最近の車社会は年々進化しており、ABS、TCS、エアバッグ等が装着され、車自体の安全性は格段に向上しています。しかし、車の安全性がどんなに向上しても、車をコントロールするの

安全はドライバーの心です。崩れたとき、急用、怒り、不安、心配、考え事、周りと同じ行動をして、危険と感じない、運転技量の未熟、運転のし始めと目的地に近づいたとき、不慣れ、安堵感、疲労感など「気が緩み」「気が

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

散っている状態です。運転に集中出来ないとき、環境の変化に対応できず交通事故を引き起こすケースが多いようです。

残念なことに県内では山梨ルール(右折優先、強引割り込み、無表示進入)に代表される

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

安全はドライバーの心

## 競技を通じて安全教育

この大会は各都道府県で予選が行われ、その優勝した小学校が参加する全国大会で各参加校は大会前に充分、安全な乗り方を練習し、また、道路標識などの知識や交通ルールなどに関する勉強を重ねてきた優秀な生徒です。



大会に出場し健闘した選手たち

この大会は各都道府県で予選が行われ、その優勝した小学校が参加する全国大会で各参加校は大会前に充分、安全な乗り方を練習し、また、道路標識などの知識や交通ルールなどに関する勉強を重ねてきた優秀な生徒です。

この大会は各都道府県で予選が行われ、その優勝した小学校が参加する全国大会で各参加校は大会前に充分、安全な乗り方を練習し、また、道路標識などの知識や交通ルールなどに関する勉強を重ねてきた優秀な生徒です。

この大会は各都道府県で予選が行われ、その優勝した小学校が参加する全国大会で各参加校は大会前に充分、安全な乗り方を練習し、また、道路標識などの知識や交通ルールなどに関する勉強を重ねてきた優秀な生徒です。



県旗のもと活躍をした各クラスの選手

## 障害物や難路に“苦闘” 二輪車安全運転全国大会

全日本交通安全協会と全日本二輪車安全運転推進委員会主催の第三十二回二輪車安全運転全国大会は、七月三十一日(土)八月一日(日)の両日、三重県の鈴鹿サーキットで開催されました。

本県は、一般B(排気量四〇〇cc超)に田富町の松本義弘選手、一般A(同四〇〇cc以下)に敷島町の石原久敬選手、高校生のクラスに甲府市の角田真司選手、女性クラスに甲府市の小林忍選手が県代表として出場しました。

この大会は非常に暑い中代表四選手の健闘が光りましたが、団体競技では入賞を逃しました。

個人競技では、高校生クラスの角田選手が九位に入り優良ライダー賞を受けました。

この講習制度が実施された、平成十年十月から平成十一年七月末までの受講者数は五百二十四名、うち社会参加活動コースが三百七十五名(七十二%)で、実車指導コースは百四十九名(二十八%)となっています。

# 地区だより チャイルドシート 特集

## 義務化へ各地の対応

オーストラリアでは、既に二十年以上前から、チャイルドシートの着用が義務化されていますが、我が国でもやっとなり法制化されて来年春から施行されます。子供を守るのは親の愛情、地域の交通安全は安協で守ると考え、各地区安協や自治体では、それぞれ独自の活動を展開していますので、運用を開始した順にその概要を紹介いたします。

### 婦人部が主役

▼石和安協境川支部  
昨年十月から、石和署と石和安協境川支部婦人部（岡梅子部長）では、チャイルドシート二種類六台を購入して、事務局



境川安協婦人部員等から説明を受ける保護者

大月署と大月安協（山下道男会長）では昨年十二月から九台のチャイルドシートを購入して、大月署に保管し、大月市内の住民に貸与期間を一週間として、無償で貸出し好評を得ています。地区安協としては最初、県下の地区安協に同制度の発足を促しました。

### 保険制度も活用

▼市川安協  
本年五月から市川署と市川安協（八木吉治会長）では、七台のチャイルドシートを購入して市川署に保管し、市川署管内居住の六歳以下の子供をもつ保護者に一年間の期限で無償で貸し出ししています。保険にも借受人が加入する制度を採用するなど、万一交通事故が発生した場合をも想定した適切な対応をとっており、用意周到な事例として評価されています。これは他の安協にも影響を与えています。

### JAから六台寄贈

▼諏訪安協  
本年七月から、諏訪署と諏訪安協（石沢道夫会長）では、同署管内所在のJA南巨摩から寄贈されたチャイルドシート



JA南巨摩から寄贈されたチャイルドシート

のJA南巨摩郡（有泉実組合長）からチャイルドシート六台を寄贈されたのを契機として、諏訪署内に保管しながら管内四町の居住者を対象に無料貸し出しを行なっています。本年五月から、南部署

### 県警方針に即応

▼南甲府安協  
本年七月から、南甲府署と南甲府安協（山下譲二会長）では九台のチャイルドシートを購入して南甲府署に保管し、管内居住の六歳以下の乳幼児を対象に二週間の期限で無償で貸し出しを行って



チャイルドシート着用指導員への講習

現在、管内の四町にも働きかけ、チャイルドシートのリサイクル運動を実施し、台数の増加を図っています。この例のように各地区の、自治体や企業等からチャイルドシートの寄贈が期待されます。

## 体験型の安全教室

### 市川安協全児童を対象に

市川交通安全協会（八木吉治会長）では、子供の交通事故防止を図るため、市川警察署と協力して、管内の西八代郡下の十一校の小中学校を対象に「登・下校時の安全な横断方法」や「自転車の安全な乗り方」などについて、子供が積極的に参加し、体験型交通安全教室を順次開催しています。まず、七月六日午前、久那土小学校の生徒、百三十名を対象に、また七月九日午前、下部小学校の生徒、百五十一名にたいし、「小学生用交通安全ビデオの鑑賞」・「ダミ一人形による衝突実験」・さらに一年生から三年生と四年生から六年生の二班に分けての「自転車安全な乗り方」などについて、体験型の講習を行いました。



熱心に講習を受ける小学生たち

講習は、市川交通安全協会下部支部役員、市川署交通係員等が指導員となり、生徒一人ひとりにアドバイスしながら指導を行いました。講習を受けた生徒は「交通事故の恐ろしくなかった。楽しい夏休み中事故にあわないう気をつけよう」と感想を述べ、好評でした。

### TSマーク

貼付増す運動  
県安協等

一 運動の趣旨  
TSマークとは、トラフィック・セーフティー（交通安全）を示すマークで、自転車安全整備士が利用者の自転車を適切に整備して、道路交通法令の基準に適合する場合には、TSマーク（別掲）を貼付し、またその機会に自転車の正しい乗り方を指導するものです。また、TSマーク付帯保険に加入すれば、自転車事故時の被害者救済にも役立てようとするものです。



交通安全協会

しかし、TSマーク貼付の自転車は毎年百万台あり、実際には七千万台使用されているうちの1・5%しか貼付していない状況で、この制度を知らない人が多いようです。

### 運動の目標

一 TSマーク一声呼びかけの励行  
二 運動の目標  
TSマーク貼付自転車の倍増に努め、三年後に、全国で年間三百万台にしようとしています。

### 運動の実施状況

一 TSマーク一声呼びかけの励行  
二 一日一台貼り増しの心がけ  
三 アフターケアの気配り、など

### 関係機関、団体

一 主催  
財団法人交通安全協会  
二 協賛  
財団法人交通安全協会  
三 後援  
警察庁交通局

【募集期間】平成十一年九月三十日  
 ◎歩行者・自転車利用者に対するもの  
 ◎自転車者（同乗者を含む）に対するもの

重点テーマ  
 ・チャイルドシートの正しい使用  
 ・運動中の携帯電話の使用禁止

☆小・中学生自身に交通安全の励行  
 に対するもの  
 ◎歩行者・自転車利用者に対するもの  
 ◎自転車者（同乗者を含む）に対するもの

重点テーマ  
 ・高齢者の交通安全  
 ・交通安全の交通安全

☆一般部門（小・中学生も応募可）  
 ◎運動者（同乗者を含む）に対するもの  
 ◎歩行者・自転車利用者に対するもの  
 ◎自転車者（同乗者を含む）に対するもの

重点テーマ  
 ・交通安全の交通安全  
 ・高齢者の交通安全

☆子ども部門  
 ◎小・中学生自身に交通安全の励行に対するもの  
 ◎歩行者・自転車利用者に対するもの  
 ◎自転車者（同乗者を含む）に対するもの

## 交通安全年間 スロージャー募集

安全を呼びかけるもの  
 「応募方法」  
 普通はがき一枚に一作品  
 ◎応募部門①スロージャー②住所、氏名、年齢、三十八号  
 ◎送付先  
 〒100-1669  
 東京都中央郵便局私書箱三十八号  
 毎日新聞社文化事業部「交通安全年間スロージャー」係

【発表】  
 平成十一年十二月上旬の毎日新聞及びNHKテレビ、ラジオで発表

職業、電話番号（小・中学生は学校名、所在地、電話番号、学年）を明記する。  
 ◎自作、未発表のものに限る。

○応募数に制限はない。

## やさしい指導 安い費用 スピード取得

★各車種の免許（大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許）の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人 山梨自動車学校  
 山梨県交通安全協会経営  
 公認 山梨自動車学校  
 中巨摩郡八田村野牛島1828（運転免許センター内）  
 TEL (055) 285-0752

TSマーク貼付の自転車を毎年百万台あり、実際には七千万台使用されているうちの1・5%しか貼付していない状況で、この制度を知らない人が多いようです。

講習を受けた生徒は「交通事故の恐ろしくなかった。楽しい夏休み中事故にあわないう気をつけよう」と感想を述べ、好評でした。

講習は、市川交通安全協会下部支部役員、市川署交通係員等が指導員となり、生徒一人ひとりにアドバイスしながら指導を行いました。

講習を受けた生徒は「交通事故の恐ろしくなかった。楽しい夏休み中事故にあわないう気をつけよう」と感想を述べ、好評でした。